

## プランクトン調査結果のお知らせ

各位

本日、野見湾においてプランクトン調査を実施しましたので、結果をお知らせいたします。

検鏡の結果、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で0.04 cell/mL、麻痺性貝毒原因種であるアレキサンドリウム属が最高で0.01 cell/mL確認されました。今後、増殖する可能性がありますので十分注意してください。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所又は水産試験場までご連絡ください。

表 プランクトンの検鏡結果 (cells/mL)

調査地点	水深	コクロディニウム・ポリクリコイデス	カレニア・ミキモトイ	アレキサンドリウム属
湾奥ブイ	1-10m	0.04	0.00	0.01
馬の背	1-10m	0.00	0.00	0.00

※本日の調査は1~10mの海水を混合した100mLを1mLに濃縮して検鏡しています。  
プランクトンが最も多い層の細胞数は上の表の値よりも高いと考えられますので、  
十分注意してください。

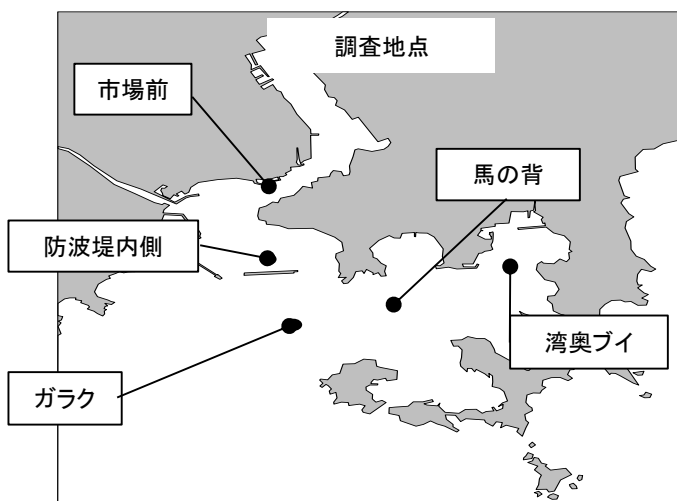


図 調査定点

## 漁業被害が想定される細胞密度

- ・コクロディニウム・ポリクリコイデス：  
数百~1,000cells/mL (魚類のへい死)
- ・カレニア・ミキモトイ：  
数百~数千 cells/mL (魚類等のへい死)